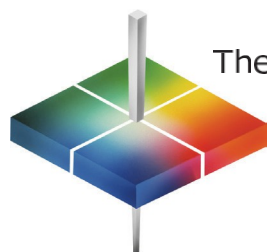


Aeros® クイックスタートガイド

A60-1018-194 ver. 1.0



The world's true measure of color

HunterLab

A

装置のセットアップ



1. 箱から取り出し、Aeros[®] を作業台に置きます。
HunterLabへの返品に備えて、梱包材は保管しておいてください。

2. 電源コードをターンテーブルの背面に接続し、もう一方の端をコンセントに差し込んでください。



3. 装置背面のロッカースイッチを使用して電源を入れます。Essentials ソフトウェアが起動すると、**カラーデータ画面**が自動的に表示されます。



4. これで、本装置は標準化の準備が整いました。

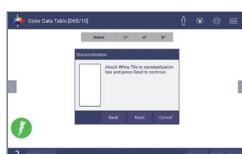
2. **OK** ボタンを押して、センサーを最上部まで移動させます。



3. **「Black Glass」** の **「Read」** ボタンを押します。
センサーが最上部に留まっている状態で、標準化ボックスをセンサーに取り付けます。次に、標準化ボックスに黒いガラスを取り付け、**「Read」** ボタンを押します。



4. **「Read White Tile」**：黒いガラスを取り外し、校正済みの白いタイルを標準化ボックスに取り付けます。**「Read」** を押して続行します。



5. 標準化が完了したら、キャリブレーションボックスを取り外してください。

C

アプリケーションの設定

1. **試料の準備**：ターンテーブル上の試料皿に試料を置きます。

2. **新しいワークスペースの作成**：ワークスペースメニューから「新しいワークスペース」を押して、このワークスペースの名前を入力します。この新しいワークスペースとともに、新しいジョブが開かれます。

注：アクティブなワークスペース名は、画面の右下隅に表示されます。



3. **新しいワークスペースの設定**：[カラースケール]、[読み取りオプション]、[標準および許容誤差]、[ビュー]、[ビューオプション] の設定変更を開始します。これらの変更はすべて、この新しいワークスペースに自動的に保存されます。

以下は、新しいワークスペースのデフォルト設定です。

- カラースケール：CIE L*a*b*、D65/10、インデックス（なし）、差分（なし）
- [読み取りオプション] > [オプション]：サンプル名の入力を求める；自動保存
- 「読み取りオプション」 > 「測定設定」：ターンテーブルオン、自動高さ調整、測定時間 5 秒
- 標準および許容差：なし
- 表示：色データテーブルのみ
- CDT 表示オプション：最新データを先頭に表示；精度 2。

4. これで、装置は製品の測定準備が整いました。

D

サンプルの読み取り

1. **READ** - 「Read」を使用してください
サンプルを読み取るための**測定アイコン**。このアイコンは、押してドラッグすることで新しい位置にドラッグして移動できます。

測定アイコンの読み取り



2. **ビュー切り替えボタン**



これらの半透明のボタンは、測定画面間の移動に使用します。表示画面を選択するには、「ワークスペース」 > 「ビュー」に移動します。

3. カラースケールを変更するには、**[ワークスペース] > [カラースケール]** を選択します。これにより、希望するカラースケール、インデックス、および差分が設定されます。許容差を追加するには、**[ワークスペース] > [規格と許容差]** を選択します。

4. データを出力するには、右上隅にある **「ジョブ」** アイコンを選択します。「ジョブ」画面では、出力データを保存したり、メールで送信、またはネットワークや USB メモリにエクスポートできます。

B

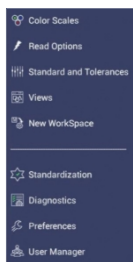
測定の実施

1. **標準化** - まず、右上隅にある「ワークスペース」アイコンをタップします。

ワークスペースアイコン



「ワークスペース」メニューから、「標準化」を選択します。



本装置の使用に関するより詳細な手順については、『Aeros[®] ユーザーマニュアル』をご参照ください。

当社の全製品に関する情報は、www.hunterlab.com をご覧ください。